

# 内視鏡的粘胃膜下層剥離術を受けられる方へ(入院診療計画書)

ID

患者氏名

受け持ち医師:

項目	入院当日	術当日(術前)	術当日(術後)	手術後1日目	術後2~5日目	術後6日(退院日)
目標	治療の準備ができるよう援助します。	発熱など体調不良がなく、治療が受けられるよう援助します。	不安なく治療が受けられ、出血・穿孔などの合併症なく経過できるよう援助します。			退院後の生活が理解できるよう援助します。
治療・薬剤(点滴・内服)処置 リハビリ	現在、飲んでいる薬があればお知らせください。 必要に応じて、リハビリテーションを行います。 (口有/口無) 	7時までに( ) 内服薬を少量の水で内服して下さい。午前中より、点滴を行います。 	全ての内服薬は中止です。  	朝から点滴があります。 レントゲン検査、胃カメラ検査後から、粘膜保護の薬の内服が開始になります。 	3日目の朝から別の胃の粘膜保護の薬の内服が開始になります。 中止薬がある場合は再開の時期を説明します。 4日目、点滴を抜きます。	
検査				午前中に血液検査、レントゲン検査、胃カメラ検査があります。 		主治医許可があれば退院になります。
活動・安静度	特に制限はありません。	点滴に注意してお過ごしてください。	治療後、4時間ベッドで安静にして下さい。治療後は麻酔の影響でふらつくことがありますので、トイレ歩行以外は安静にお過ごしてください。 	検査には車椅子で行きます。その後は病棟内自由になります。 	術後2日目から院内自由になります。 	
食事	21時以降は飲んだり、食べたりできません。 ※特別な栄養管理の必要性(口有/口無)	何も、飲んだり食べたりすることができません。  		検査結果によって水分(水、麦茶)が飲めるようになります。 	術後2~3日目から流動食が始まります。 3分粥、5分粥、7分粥、全粥と毎日変わっていきます。 病院食以外は食べられません。  	次回外来に来られるまでは、消化の良いもの、柔らかい物を食べるようにして下さい。 禁酒、禁煙して下さい。   
清潔		清拭を行います。 		清拭を行います。 	術後3日目からシャワー浴ができます。 	入浴ができます。 
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	入院オリエンテーションをします。同意書の確認を行います。入院診療計画書に沿って、治療の説明をします。 分からないことがあれば遠慮せずにお尋ねください。 	治療中、ご家族は病室でお待ち頂きます。治療終了し患者様を迎えに行くときに一緒に内視鏡室のご案内いたします。 内視鏡室で治療後の説明があります。 	検査後、最初の歩行はふらつきますので、看護師を呼んで下さい。術後に黒い便が出る場合があります。普通と違う便の色が出た場合は看護師にすぐ知らせて下さい。嘔気、嘔吐、腹痛などがありましたら、すぐに看護師にお知らせください。 		胃が痛い、ムカムカするなどの症状がありましたら、お知らせください。 	術後6日以降に栄養士から栄養指導があります。会計用紙をお渡しします。退院療養計画書をお渡しします。お薬をお渡しします。次回受診の説明をします。術中の組織検査の結果は、外来でお伝えしますので必ずご家族と一緒に来て下さい。

主治医以外の担当者:

本人・家族サイン:

竹田綜合病院 消化器内科 平成30年3月改訂